2009年度(第16回)香川県ミッド・グランドシニアゴルフ選手権競技 兼 四国ミッド・グランドシニアゴルフ選手権予選競技

開催日 平成21年8月27日(木)、28日(金) 開催コース 志度カントリークラブ

> 主 催 香川県ゴルフ協会 共 催 四国ゴルフ連盟 後 援 四国新聞社

競技の条件

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。

2.競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用球の規格

a. 『公認球リストの条件·ゴルフ規則付 (c)1b』を適用する。

(ゴルフ規則 185ページ参照)

4.使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・ゴルフ規則付 (c)1a』を適用する。

(ゴルフ規則 183ページ参照)

5.スタート時間

『ゴルフ規則付 (c)2』を適用する(ゴルフ規則 186ページ参照)。

6. 競技終了時点

競技委員会の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

7. ホールとホールの間での練習禁止

『ゴルフ規則付 (c)6b』を適用する。(ゴルフ規則 189ページ参照)

8.プレーの中断と再開

- (1)プレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則6-8b、c、dに従って処置すること。
- (2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間にいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。 1ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。 競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則 33-7 にきめられているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。

この条件の違反の罰は競技失格(ゴルフ規則 6-8b注)

- (3)プレーの中断と再開の合図について
 - a. 通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。 および競技委員を通じて競技者

に連絡する。

b. 険悪な気象状況に:1回の長いサイレンを鳴らして通報する。および競技委員を通じて競技

者に連絡する。

c. プレーの再開 1回の長いサイレンを鳴らして通報する。および競技委員を通じて競技

者に連絡する。

9.移動

本競技では、プレ・ヤ・のゴルフカ・トの使用および乗車を認める。但し、ゴルフカ・トはプレ・ヤ・の 携帯品の一部とする。

そのカ・トとカ・ト上の全ての物は、球との関連で問題が生じた場合、その球の持主であるプレ・ヤ・の携帯品とみなす。

但し、そのカ・トを共用しているプレ・ヤ・の一人がこれを動かしていた時、または一人のプレ・ヤ・の指示で共用のキャディーが動かしていた時は、そのカ・トとカ・ト上の全ての物はカートを運転しているプレーヤー、または特定の指示を出したプレーヤーの携帯品とする。

10. キャディー

正規のラウンド中、競技者が委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。 この条件の違反の罰は『ゴルフ規則付 (c)3』を適用する。(ゴルフ規則 187ページ参照)

11.順位の決定

36ホールを終え、1位にタイが生じた場合は、即時委員会の指定するホールにおいてホールバイホールによるプレーオフを行い優勝者を決定する。なお、3名以上でプレーオフが行われる場合、優勝者以外の者は2位タイとする。

12. ティーマーカー

ミッドシニアはコンペティションマーク、グランドシニアは白マークとする。

ローカルルール

- 1.アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- 2.修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。
- 3. ラテラル・ウォーターハザードは赤杭をもってその限界を標示する。
- 4.排水溝は動かせない障害物とする。
- 5. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
- 6. パッティンググリーンに近接する動かせない障害物について、『ゴルフ規則付 (B)6』を適用する。 (ゴルフ規則 173ページ参照)
- 7. 16のラテラルウォーターハザードの土どめ用コンクリート壁はコースと不可分のものとする。

注意事項

- 1. 競技の条件やローカルルールに追加・変更のある時は、掲示して告示する。
- 2. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
- 3. コース内での携帯電話は委員会の許可な〈使用を禁止する。
- 4. スタート時刻8分前にはティインググランド周辺に待機すること。

競技委員長 松下 啓三